



令和3年5月3日(月)・21日(金)

介護相談員さんから…

天間荘では平成28年4月から介護相談員等派遣事業を受け入れています。市町村に登録された介護相談員が毎月2回来荘し、利用者の疑問や不満、不安を受けつけ、天間荘や行政に橋渡しをしてくれています。こうした介護相談員の活動報告(利用者の声や気づき)は、問題の改善や介護サービスの質の向上に活用されています



【食事・嗜好品】

- ショート利用者の方、家ではいつも朝パン食なので、時にはパンで朝食をとりたいと話してくれました。
- 「おやつの中のパンケーキ」は、利用者の方全員おいしそうに食べていました。ある利用者は、もう一つ欲しいらしく「余っていたらちょうだい」と職員に催促していました。

【施設・環境】

- 鯉のぼりの中身を詰めて天井に飾ってありました。吹き流し、真鯉、緋鯉など見ごたえがありました。

【医療・健康・リハビリ】

- 「手指の消毒」と掲示してあるのに、おやつ、食事の時、消毒してほしいと言わないとしてくれないと話していました。

【職員のケア】

- ソファに座っている仲良さ2人組の利用者に職員がお茶とおやつを移動テーブルに乗せて運んでくれていました。利用者の方、すごく喜んでいました。
- 私たちに職員の方達が挨拶してくださいました。また、利用者の方達にも、明るく対応していました。職員と利用者の方のやり取りがほほえましく感じました。
- 男性職員の方が、入所の方をトイレに連れて行くのに、楽しく面白く連れて行く光景がほほえましく感じました。トシも上手に誘導して手を繋ぎトイレに連れて行きました。
- 身体の不自由な利用者さんを、職員が抱き上げるのではなく吊り上げる機械を使っていました。職員さんも入所者さんも身体に負担なく介護ができて良いと思います。
- ショートの男性利用者の方が「お金を持っていないので帰りのバス代がないので不安」と。側で聞いていた職員の方が「ご家族の方から預かっていて帰りも車でお送りするので安心していてくださいね」と話し、本人も安心したようでした。

